



# オーライ!ニッポン 都市と農山漁村の共生対流の話題

## 第12回オーライ!ニッポン大賞表彰式

平成 26 年11月



第12回オーライ!ニッポン大賞 記念撮影

後列(13人)

左から	1	2	3	4	5	6	7	右から	6	5	4	3	2	1
	山野 専務理 事	今村 理事長	泉谷 勝敏 氏	柴田 さほり 氏	石川県立大 学「学生援 農隊あぐり」 村野 匡平 部長	NPO 法人 愛のまちエ コ倶楽部 増田 隆 事務局長	井上和衛 審査委員長 代理	鳥羽市エコ ツーリズム 推進協議 会 村田直 係長	株式会社 西京銀行 金丸眞明 専務取締 役	畦田 堅持 氏	西井 浩隆 氏	宮城 健隆 氏	三浦 農村振 興局長	
			ライフ	ライフ	会長賞	会長賞		フレンドシップ賞	フレンドシップ賞	ライフ	ライフ	ライフ		

前列(9人)

左から	1	2	3	4	5	右から	4	3	2	1
	世羅高原6次 産業ネットワ ーク 原田 修 会長	オーライ!ニ ッポン会議 平野副代表	中津川むらづ くり協議会 伊藤和憲 会長	オーライ!ニ ッポン会議 養老代表	NPO 法人 東村観光推 進協議会 吉本淳 理事長	小泉 農林水 産副大臣	NPO 法人 喜多方市GT サポートセン ター 伊藤幸太郎 理事長	NPO 法人 エ コ・リンク・ア ソシエーショ ン 下津公一 郎 代表理事	NPO 法人 小川作小屋 村運営協議 会 上米良秀俊 会長	
	大賞		大賞		グランプリ		大賞	大賞	大賞	フレンドシップ大賞

第12回オーライ!ニッポン大賞の表彰式が平成26年11月4日、帝国ホテル東京で表彰されました。

### 内閣総理大臣賞は、NPO法人 東村観光推進協議会(沖縄県東村)

都市と農山漁村の共生・対流推進会議と農林水産省は、「都市側から送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を生かした受入側の活動」を実践している方々(オーライ!ニッポン大賞)や、ターン等により農山漁村において個性的で魅力的なライフスタイルを実現している方々(オーライ!ニッポン ライフスタイル賞)を表彰する第12回オーライ!ニッポン大賞の表彰式を開催しました。

#### オーライ!ニッポン大賞グランプリ(内閣総理大臣賞)

NPO 法人 東村観光推進協議会(沖縄県 東村)

#### オーライ!ニッポン大賞(4件)

中津川むらづくり協議会(山形県 飯豊町)

NPO 法人 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター(福島県 喜多方市)

世羅高原6次産業ネットワーク(広島県 世羅町)

NPO 法人 エコ・リンク・アソシエーション(鹿児島県 南さつま市)

#### オーライ!ニッポン大賞 審査委員長賞(2件)

石川県立大学「学生援農隊あぐり」(石川県 野々市市)

NPO 法人 愛のまちエコ倶楽部(滋賀県 東近江市)

#### オーライ!ニッポン フレンドシップ大賞(1件)

小川作小屋村運営協議会(宮崎県 西米良村)

#### オーライ!ニッポン フレンドシップ賞(2件)

・株式会社 西京銀行(山口県 周南市)

・鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県 鳥羽市)

#### オーライ!ニッポン ライフスタイル賞(5人)

畦田 堅持(神奈川県 横浜市)

柴田 さほり(長野県 飯山市)

西井 浩隆(愛知県 豊根村)

泉谷 勝敏(山口県 周防大島町)

宮城 健隆(沖縄県 大宜味村)

10月16日に開催いたしました審査委員会において、厳正なる審査の結果、第12回オーライ!ニッポン大賞の各賞が選定(前記の15者)され、平成26年11月4日、帝国ホテル東京2階「牡丹の間」で、13時からの表彰式で、表彰されました。

第12回目となる26年度は、全国から137件(オーライ!ニッポン大賞122件、ライフスタイル賞15件)の素晴らしい共生・対流の活動の取組についてご応募いただき、審査では、たくさんの取り組み内容の広がりに驚くとともに、さまざまな観点から真剣なご議論をいただきました。

審査委員の方々からも、新たな取り組みとともに、継

続した取り組みの組織化の充実化など高く評価をいただきました。

選定された取り組み関係者のみならず、応募いただきました全ての取り組みについて、ますます都市との連携や幅広く地域交流が促進される機会をとらえて取り組みの輪が促進されるように推進していきたいと存じますので、今後ともよろしくお願いたします。

表彰式は、11月4日(火)13時から帝国ホテル東京で開催されました。表彰式、事例紹介、交流会の3つの部に分かれて開催をし、帝国ホテルでの表彰式では、養老猛司オーライ!ニッポン会議代表の講演と平野啓子副代表の応援スピーチがありました。

また、15の全受賞者の皆さんの取り組み活動の内容の紹介を帝国ホテルと農林水産省の2か所で行いました。

都市と農山漁村共生・対流の最新の優れた取り組みの情報や関係者との情報交換など都市と農山漁村の交流の促進と地域活性化に関する様々な関係者との交流を進められ大いに盛り上がりしました。

#### 第12回オーライ!ニッポン大賞表彰式等 表彰式(参加無料)

日時:平成26年11月4日(火曜日)

13時00分(開場12時30分)~15時00分

会場:帝国ホテル東京(本館2階「牡丹の間」)

所在地:東京都千代田区内幸町1-1-1

内容:養老猛司代表の基調講演

平野啓子副代表の語り

グランプリと大賞受賞者による活動の紹介

井上和衛明治大学名誉教授による講評

#### 事例発表会(参加無料)

日時:平成26年11月4日(火曜日)

16時00分~18時00分

会場:農林水産省 本館6階

農村振興局第1会議室(ドア番号:667)

所在地:東京都千代田区霞が関1-2-1

#### 交流会

日時:平成26年11月4日(火曜日)

18時30分~20時00分

会場:農林水産省 北別館1階

和食・カフェテラス「手しごとや 咲くら」

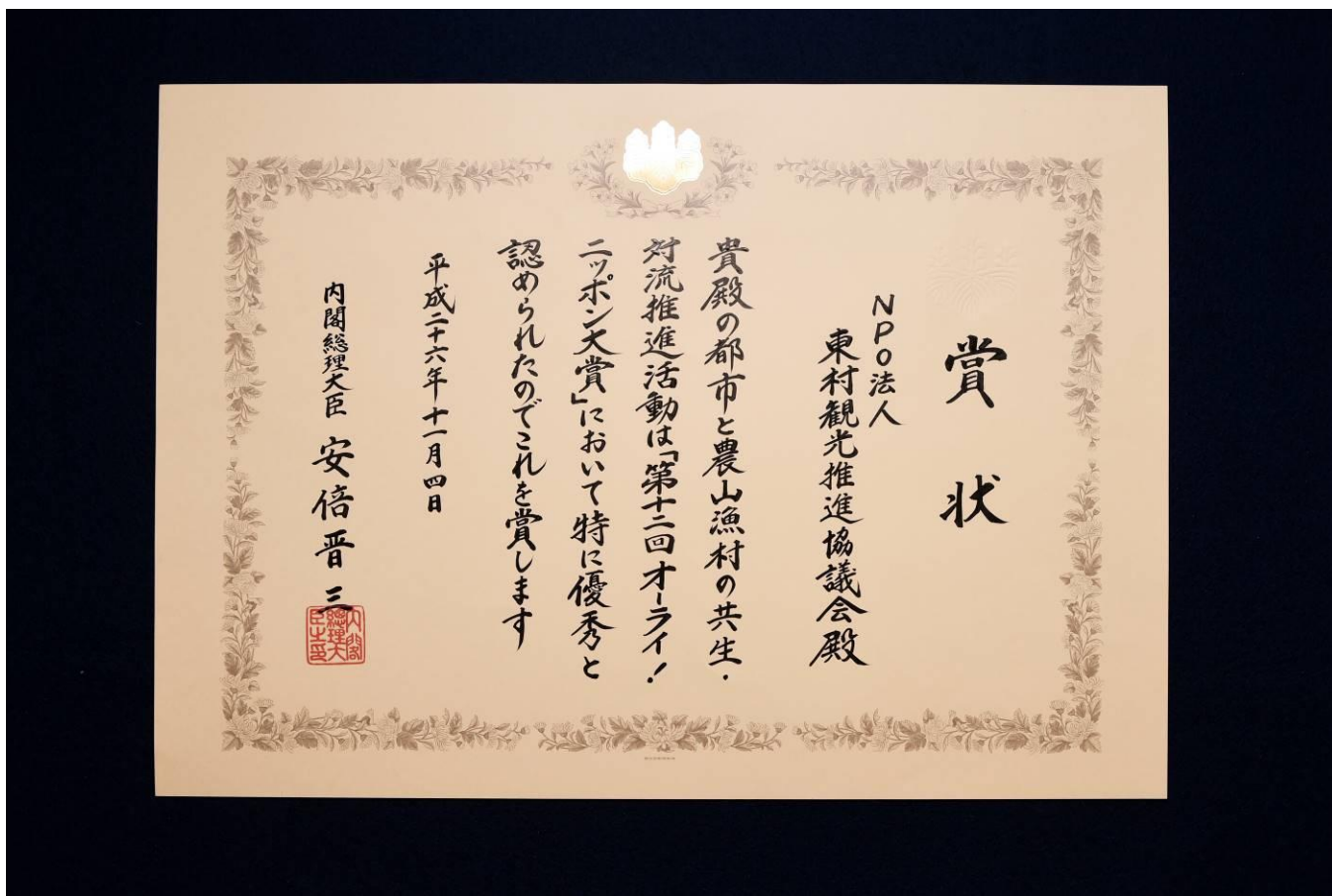
会費制(3,000円)



開会挨拶をする養老代表



来賓挨拶をする小泉昭男 農林水産副大臣



**オーライ!ニッポン大賞**

NPO 法人 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター(福島県喜多方市)

伊藤 幸太郎 会長

喜多方市は平成 15 年に全国の市として初めて「グリーン・ツーリズムのまち」を宣言。平成 17 年に同センターが開設され、総合窓口として問合せ、予約、決済等のワンストップサービスを実施している。



小泉副大臣からオーライ!ニッポン大賞グランプリ(内閣総理大臣賞)表彰状を授与されるNPO 法人東村観光推進協議会 吉本 淳 理事長



◆取り組み活動の内容を紹介

**オーライ!ニッポン大賞グランプリ(内閣総理大臣賞)**

小田 晃久 事務局長(東村観光推進協議会)  
グリーン(農業体験)、ブルー(漁業体験)、エコ(自然体験)の各部会が協力し、農漁家や地元ガイドが直接参加者と交流する、ほんもの体験型観光による地域活性化を図っている。また、大宜味村や国頭村など隣接する地域とも連携し、広域的な受入体制整備を行っている。



都市農山漁村交流活性化機構 山野昭二専務理事から受賞者を代表して、グランプリ受賞のNPO 法人東村観光推進協議会 吉本 淳 理事長に副賞の目録を贈呈



**オーライ!ニッポン大賞**

世羅高原6次産業ネットワーク(広島県世羅町)

原田 修 会長

ネットワークに直売所や観光農園など 69 団体が所属、「持ちつ持たれつ」をモットーに、互いの施設や商品をPR することで、地域の活性化と交流促進に努め、女性や若者の活躍の場を創出している。



**オーライ!ニッポン大賞**

NPO 法人 エコ・リンク・アソシエーション(鹿児島県南さつま市)

下津 公一郎 会長

修学旅行の受入と自然体験活動を軸に、都市と農山漁村の交流による地域の心と人、経済の活性化に力を入れている。当初は南薩摩地域を中心に取組を始め、現在は県全域に広がっている。



平野啓子副代表の受賞者への応援メッセージ



**オーライ!ニッポン大賞**

中津川むらづくり協議会(山形県飯豊町)

伊藤 和憲 会長

農家民宿を中心に地区全体で教育旅行・企業研修の受入や、地域の特徴的な食を活用した体験ツアーを実施。都市と農村の交流を推進することにより、双方が抱える課題の解決を図っている。



井上和衛明治大学名誉教授による講評



**オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞**

石川県立大学「学生援農隊めぐり」(石川県野々市市)  
村野 匡平 部長

平成 17 年から、棚田保全や伝統行事等のボランティア活動を実施、高齢化した農村地域の振興や伝統文化の継承に貢献している。



**オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞**

NPO 法人 愛のまちエコ倶楽部(滋賀県東近江市)  
増田 隆 事務局長

地域循環・地域自立モデルである「菜の花プロジェクト」を学び体験できるエコツーリズムを実施するほか、地域資源を活用した「田舎もん体験」、「薪ストーブ開発」、「シニアによる梨づくり」などにも取り組んでいる。



**オーライ！ニッポン フレンドシップ大賞**

おがわさくごやむら にしめらそん  
小川 作 小屋村 運営協議会(宮崎県西 米良村 )  
上米良 秀俊 会長

自立・自走の集落運営を目指して平成 21 年 2 月に協議会を発足。公設民営の施設「おがわ作小屋村」では、集落内の食材を中心に小皿 16 枚に盛りつけた「おがわ四季御膳」を提供し、年間 1 万食が出るヒット商品となっている。



**オーライ！ニッポン フレンドシップ大賞**

鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県鳥羽市)  
村田 直 鳥羽市観光課 観光振興係 係長

「循環」と「連携」をキーワードに、海を守る間伐、未利用魚の利用、地域の魅力を気軽に知るためのエコツアーカフェなどを行うことで、地域の豊かな自然・歴史・文化の保護や魅力向上を図っている。



**オーライ！ニッポン フレンドシップ大賞**

株式会社西京銀行(山口県周南市)  
末田義明 地域連携部長

交流人口、定住人口の増加による地域活性化への取組の一環として、全国の大学生を対象とした山口県内の企業訪問と観光を組み合わせたツアーを実施している。



うねた けんじ  
**ライフスタイル賞 畦田 堅持 氏**  
(神奈川県横浜市)

静岡県河津町との二地域居住を初めて 22 年。地域活性化を目的に「(一社)ルーラル・ライフ」を立ち上げ、空き家を活用したシェアハウスの運営などに取り組んでいる。



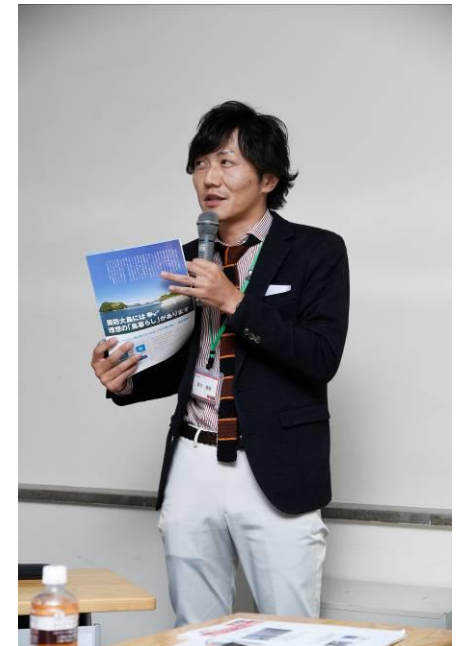
**ライフスタイル賞 柴田 さほり 氏(長野県飯山市)**

農林水産省の田舎で働き隊の隊員として飯山市に移住、旅行会社での勤務経験を活かし、観光局職員として海外からの誘客に取り組む。



**ライフスタイル賞 西井 浩隆 氏(愛知県豊根村)**

山村留学指導員として、山村留学生の指導のほか、夏・冬休みには都会の子ども達に山村の魅力を知ってもらう取組を実施。



いずたに かつとし  
**ライフスタイル賞 泉谷 勝敏 氏**  
(山口県周防大島町)

妻の実家である周防大島町に移住、「ふるさとライフプロデューサー」として、移住希望者のサポートを行っている。



**ライフスタイル賞 宮城 健隆 氏**

**おおぎみそん**  
(沖縄県大宜味村)

定年を機に母親の実家である大宜味村に移住、「自然」や「生活・文化」等の要素を盛り込んだ体験プログラムの提供を行っている。



受賞者の事例発表を受けてコメントを述べる元石一雄 オーライ！ニッポン大賞 審査委員



事例発表を聞く、佐藤 具揮 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課課長(左前)と養老代表

★審査委員長講評(一部抜粋)

今年度は全国からオーライ！ニッポン大賞 122 件、ライフスタイル賞 15 件、合計 137 件のご応募を頂きました。募集の周知にご協力いただいた関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

今年度のオーライ！ニッポン大賞は、長年の実績を有する中間支援組織からの応募が多いのが特徴でした。中でも、質・量ともに大きな成果と効果をあげている取り組み、隣接する地域や全国に活動が波及しているモデル性の高い取り組み、これまでの実績に安住せず新規の分野への挑戦を続ける新規性の高い取り組み、活動を通じて得た収益により常勤スタッフの確保に成功している取り組み等が高く評価されました。分野的には、農家民泊や教育旅行の取り組みを中心に、企業研修や外国人旅行者の受入、環境保全や福祉との連携、伝統芸能や郷土料理など伝統文化の継承、農業・農村の6次産業化など、多岐にわたっております。

一方、「学生・若者カツヤク部門」と「都市のチカラ部門」の応募が少なかった点は残念でした。「農山漁村イキイキ部門」として応募された取り組みの中には、都市側の学校、大学、企業、観光、福祉などと連携した取り組みも多くみられました。次回以降、こうした連携相手の企業や大学等からも、「学生・若者カツヤク部門」と「都市のチカラ部門」にご応募いただけることを楽しみにしています。

ライフスタイル賞は、都市部からの移住(UUターン)や、都市と農山漁村を行き来する2地域居住等を通じて、個性的で魅力的なライフスタイルを実践しながら共生・対流に貢献している個人を表彰するものです。今年度は、シニアから青壮年まで、幅広い年代から応募がありました。シニアからの応募は、個人の田舎暮らしにとどまらず、コミュニティ活動への参加はもちろん、様々な形で地域の課題解決に貢献している方からの応募が増えました。若者からの応募は、「社会のために生きる」という目的意識をもちつつも、自らのライフスタイルを楽しみながら等身大で取り組む姿勢が伝わってきます。今

年は、40 歳前後の働き盛りの皆さんが、スキルや経験を活かして地域貢献等をしている応募も多かったように思います。

オーライ！ニッポン大賞グランプリに輝いた「NPO法人東村観光推進協議会」(沖縄県東村)は、グリーン・ツーリズム(農業体験や農家民泊)、ブルー・ツーリズム(漁業体験)、エコ・ツーリズム(自然体験)を連携させ、教育旅行を中心に地域資源を活用した「ほんもの体験型観光」に取り組み、前身組織の活動を含めて15年にわたる活動の結果、年間の売上は1億円余り、6名の常勤スタッフを確保するまでに成長し、その持続可能性が高く評価されました。隣接する大宜味村と国頭村との広域的な連携体制を構築し、今後のさらなる発展が期待されます。

**オーライ！ニッポン大賞受賞4者が  
ファーマーズ&キッズフェスタに  
出展**



第5回ファーマーズ&キッズフェスタ2014が11月8日(土)9日(日)の両日、東京日比谷公園で開催され、オーライ！ニッポン大賞の副賞の一環として、4つの団体が出展し都市生活者にアピールしました。

ファーマーズ&キッズフェスタは、日本全国のプロ農業者が集い「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子供たちに元気なニッポン農業を発信するイベントとして、今年第5回目を迎え、こだわりの新鮮な農産物を東京のど真ん中にお届けするとともに、楽しいステージや食育・農育ワークショップを催したり、超大型農業機械の試乗、動物との触れ合いの場を作ったりと、様々な形で農業の魅力と楽しさを紹介しています。農林水産省と(一財)都市農山漁村交流活性化機構では、昨年からのオーライ！ニッポン大賞の副賞として、このイベントへの出展参加の支援を行っており、第12回の受賞者のなかから出展を希望した NPO 法人 東村観光推進協議会(沖縄県 東村)、中津川むらづくり協議会(山形県 飯豊町)、世羅高原6次産業ネットワーク(広島県 世羅町)、宮城 健隆氏(沖縄県 大宜味村)の4者が二日間、地域の特産品等を消費者に試食や販売などによってアピールをしました。

<第5回ファーマーズ&キッズフェスタ2014 事務局>  
東京都千代田区二番町9-8 中労基協ビル1F  
公益社団法人 日本農業法人協会 内



4 団体テントを並べて特産品等で地域PRを実施



東村は、自慢のパイナップルを試食販売 自然の甘さのピンは子どもたちにも大人気



上  
大宜味村の宮城さんは、シークアーサーの試食やゼリーでアピール  
左  
中津川むらづくり協議会は、玉こんにゃくの試食販売。



世羅高原6次産業化ネットワークは、農家の皆さんが作ったジャムやトマト、ブドウなどの果物を販売

発行者 都市と農山漁村の共生対流推進会議  
(愛称:オーライ！ニッポン会議)茅原  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 45  
神田金子ビル 5 階 (一財)都市農山漁村交流活性化機構内 TEL03-4335-1985  
<http://www.kouryu.or.jp/ohrai/>